

市有財産の状況

区 分		土 地	建 物	主な施設
行政財産	公用財産	84,725㎡	28,701㎡	庁舎、消防施設など
	公共用財産	3,711,637㎡	456,072㎡	学校、図書館、公営住宅、公園など
普通財産		2,828,442㎡	17,665㎡	上記以外（山林など）
合 計		6,624,804㎡	502,438㎡	

特別会計

市には、5つの特別会計と2つの財産区会計があります。特別会計全体の基金残高は約23億円で、前年度と比べると約1億8,000万円増加しています。※マイナスは「▲」と表記

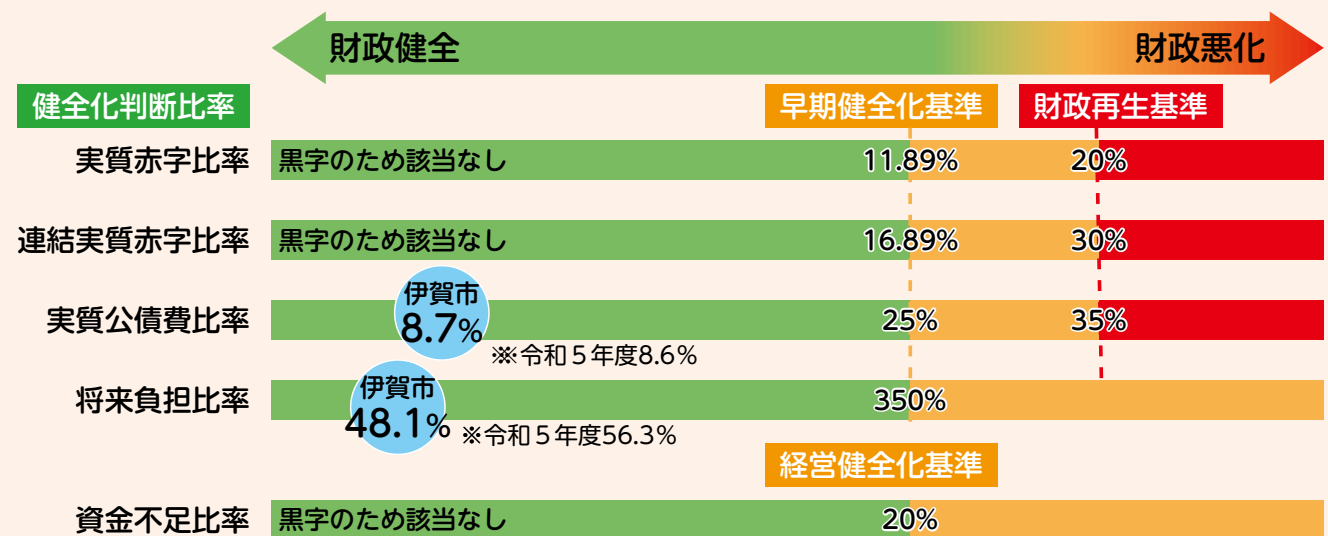
区 分	会計名	歳入額	歳出額	差引額	基 金
特別会計	国民健康保険事業	83億1,688万円	84億3,638万円	▲11,950万円	4,056万円
	駐車場事業	4,610万円	4,510万円	100万円	—
	介護保険事業	106億2,927万円	105億6,071万円	6,856万円	17億6,652万円
	サービスエリア	988万円	914万円	74万円	5,616万円
	後期高齢者医療	15億6,952万円	15億6,771万円	181万円	—
財 産 区	島ヶ原財産区	3,101万円	2,845万円	256万円	3億1,540万円
	大山田財産区	1,409万円	1,312万円	97万円	1億4,430万円
合 計		206億1,675万円	206億6,061万円	▲4,386万円	23億2,294万円

財政の早期健全化・再生に関する指標（財政健全化法に基づく指標）

健全化判断比率は、地方公共団体の赤字の大きさ（実質赤字比率、連結実質赤字比率）や借金返済額の大きさ（実質公債費比率）、将来に負担が見込まれる実質的な負債の大きさ（将来負担比率）を指標化したものです。

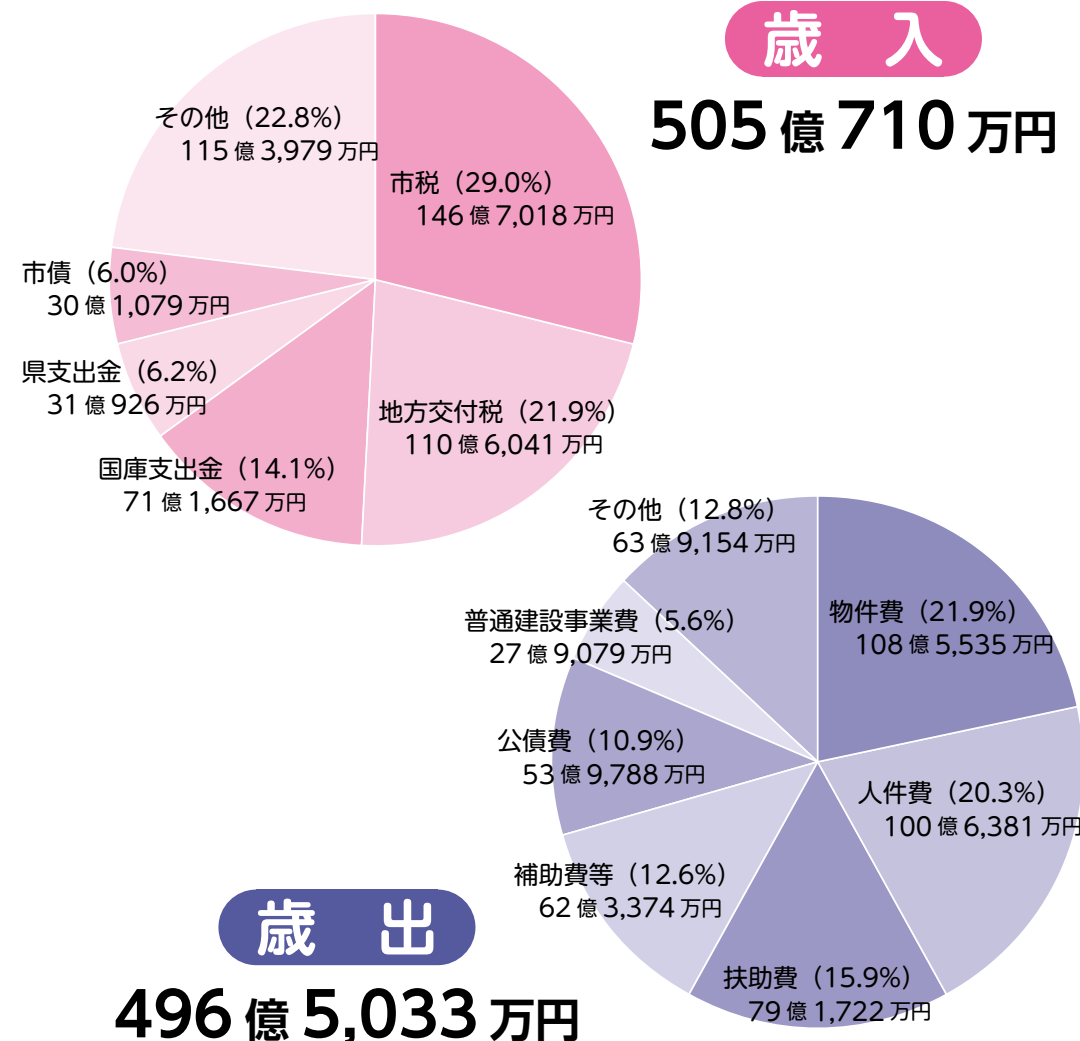
実質公債費比率については、昨年度数値から

0.1%増加していますが、将来負担比率については、市債償還が進んだことなどにより昨年度を下回り、数値は改善しています。また、すべての指標において早期健全化基準・財政再生基準を下回っていて、健全な財政状況を維持していると言えます。この基準を超えると、健全化に向けた対策が必要となります。



歳 入

505億710万円



歳 出

496億5,033万円

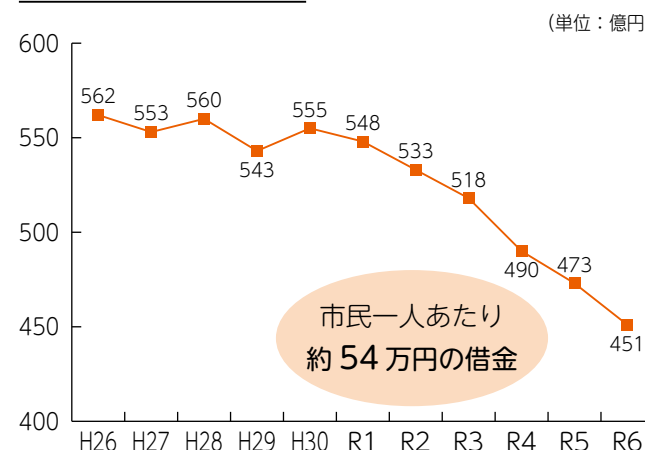
〈概 要〉

昨年度よりも市税収入などが減少したものの、市の借金の減少や地方消費税交付金の増加などにより、令和6年度の実質収支は**6億3,405万円の黒字**になりました。これからも健全な財政運営*を行っていきます。*基準となる指標は7ページに記載

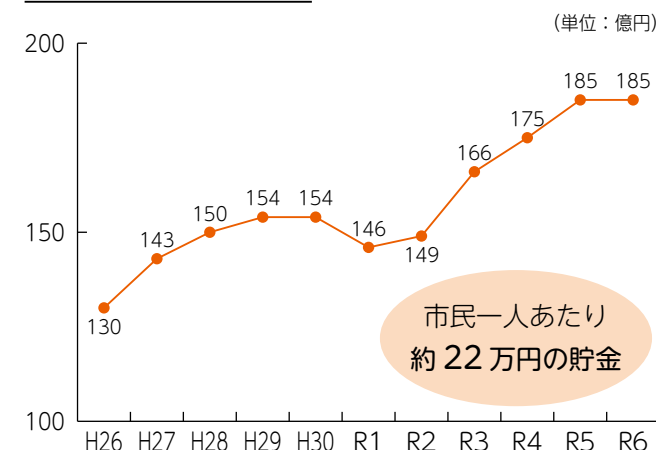
主な事業

学校給食管理経費	1億4,991万円	常備消防施設等整備事業	1億935万円
給食センター管理運営経費	6億1,864万円	ごみ処理広域化検討事業経費	350万円
医療費助成経費	1億382万円	忍者市プロジェクト事業	2億4,741万円
		旧上野庁舎利活用事業	13億6,621万円

市債残高（市の借金）



基金残高（市の貯金）



特集

令和6年度 伊賀市の決算

問 財政課

FAX 24 22
2 9
4 6
4 0
0 8



伊賀市議会9月定例会月会議で、令和6年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回はその概要をお知らせします。※端数処理の関係で、決算書の数値と一致しない場合があります。

水道事業

四十九町、上之庄地内などで重要給水施設配水管事業を実施し、上野小玉町、桐ヶ丘地内などで配水管の更新事業に取り組みました。また、小田浄水場の消石灰注入設備や高圧受電設備などの設備機器の更新工事を実施し、安定して水道水を供給できる環境を整備しました。

■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
水道事業収益	32 億 3,987 万円	32 億 3,116 万円	—	増減額	▲ 871 万円
水道事業費用	32 億 4,053 万円	30 億 8,139 万円	957 万円	不用額	1 億 4,957 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
資本的収入	8 億 1,223 万円	6 億 3,965 万円	—	増減額	▲ 1 億 7,258 万円
資本的支出	20 億 3,563 万円	17 億 8,736 万円	1 億 6,799 万円	不用額	8,028 万円

■市債残高 95 億 6,035 万円

問 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

さらに、物価高騰による経済的影響を軽減する支援策として、水道基本料金 2 カ月分の減免を行いました。

経営状況は、計画的に管路や設備機器の更新を行い、昨年度に引き続き利益を生じることができました。

今後も安心・安全で良質な水道水を安定的かつ持続的に供給できるように努めます。

下水道事業

ストックマネジメント事業の全体計画や下水道総合地震対策計画の策定を行いました。特定環境保全公共下水道事業では、農業集落排水中矢地区と上三ヶ地区を島ヶ原処理区へ統廃合するため、中矢工区分の路線測量、地質調査や管路詳細設計業務を行いました。農業集落排水事業では、西山地区を西高倉地区へ統廃

■下水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
下水道事業収益	25 億 7,818 万円	26 億 39 万円	—	増減額	2,221 万円
下水道事業費用	25 億 898 万円	22 億 7,890 万円	1,942 万円	不用額	2 億 1,066 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
資本的収入	10 億 4,784 万円	8 億 2,230 万円	—	増減額	▲ 2 億 2,554 万円
資本的支出	16 億 9,249 万円	13 億 7,443 万円	2 億 879 万円	不用額	1 億 927 万円

■市債残高 105 億 1,950 万円

問 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

合するため、西山地内の管路工事を実施しました。また、府中第 1 地区の真空弁ユニットへの通報装置設置工事を実施しました。

経営状況は、業務の効率化に努め、昨年度に引き続き利益を生じることができました。今後も下水道普及率の向上と公共用水域の水質保全に努めます。

病院事業

本館・西病棟自動火災報知設備更新工事や本館地下機械室各種ポンプ更新工事などの施設改修、2 方向 C アームや超音波手術器などの医療機器を購入するなど、医療機能の充実に努めました。

経営状況は、医業収益は入院患者数の増加などにより前年度を上回りました。医業費用は効率化や経費の

■病院事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
病院事業収益	54 億 8,773 万円	49 億 7,645 万円	—	増減額	▲ 5 億 1,128 万円
病院事業費用	54 億 7,968 万円	53 億 6,090 万円	—	不用額	1 億 1,878 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
資本的収入	6 億 799 万円	4 億 5,133 万円	—	増減額	▲ 1 億 5,666 万円
資本的支出	7 億 6,189 万円	6 億 864 万円	—	不用額	1 億 5,325 万円

■市債残高 13 億 1,400 万円

問 上野総合市民病院病院総務課 ☎ 24-1111 FAX 24-1565

節減に取り組んだものの、人件費や材料費などの高騰により前年度を大きく上回りました。その結果、純損失を生じることとなりました。今後も医療サービスの向上と良質で高度な医療の提供、福祉の増進に努めるとともに、運営の効率化を図りながら、市民の負託に応えることができる病院をめざします。